

# 大動脈瘤ステントグラフト手術について

## 大動脈瘤について

1p

- ・大動脈瘤とは
- ・大動脈瘤の種類

## 手術の種類

3p

- ・大動脈瘤切除・人工血管置換手術
- ・カテーテル治療（ステントグラフト手術）

## ステントグラフトとは??

5p

- ・ステントグラフトとは
- ・カテーテル治療（ステントグラフト手術）をした場合のメリットとデメリット
- ・手術後のケア

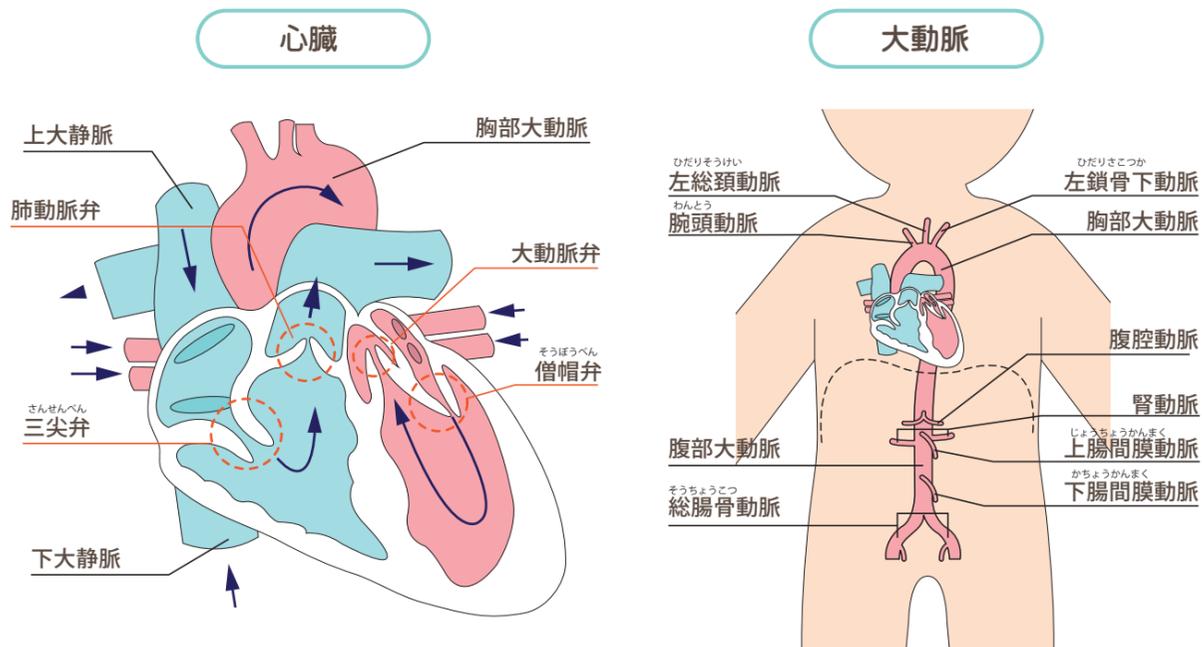
## ステントグラフト Q&A

6p

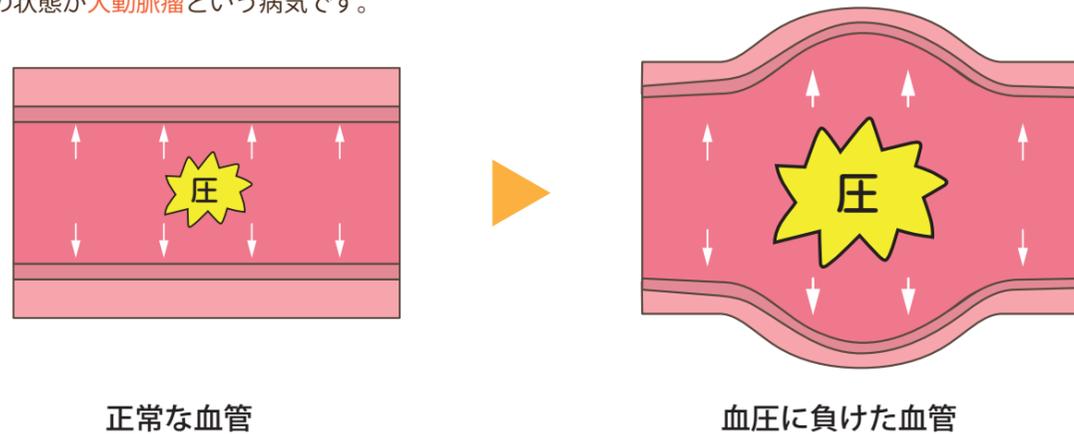
だいどうみゃくりゅう  
**大動脈瘤について**

**大動脈瘤とは**

- 大動脈瘤とは、**大動脈がこぶ状にふくらんだ病気**です。大動脈は人間の体の中でもっとも太い動脈です。心臓から始まって、おへその高さまで、全体として“ステッキ”の形をしています。大動脈からは、手に行く動脈・脳に行く動脈・内臓に行く動脈・足に行く動脈と実に多くの枝が分かれています。まさに体中に血液を送る“メインストリート”です。

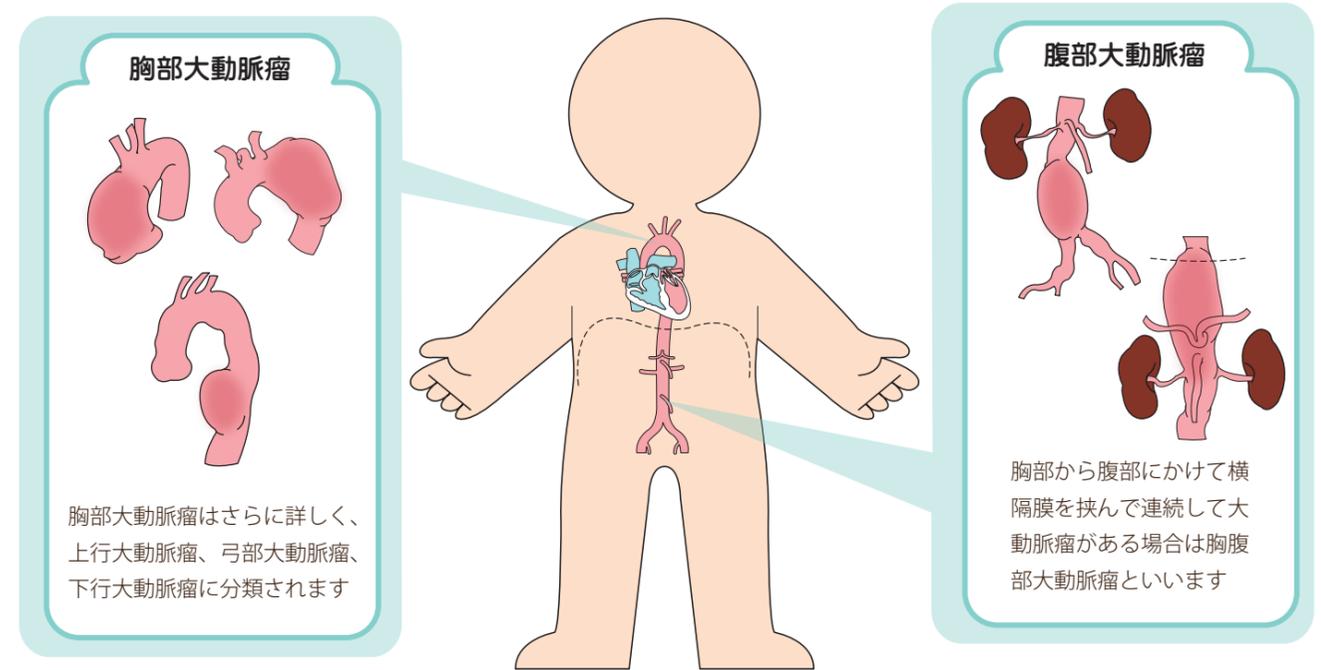


- 大動脈にはいつも血圧がかかっています。老化・動脈硬化・感染・炎症・外傷などで大動脈の壁に弱ったところがあると、血圧に負けて大動脈がこぶ状に膨らんでいきます。この状態が**大動脈瘤**という病気です。

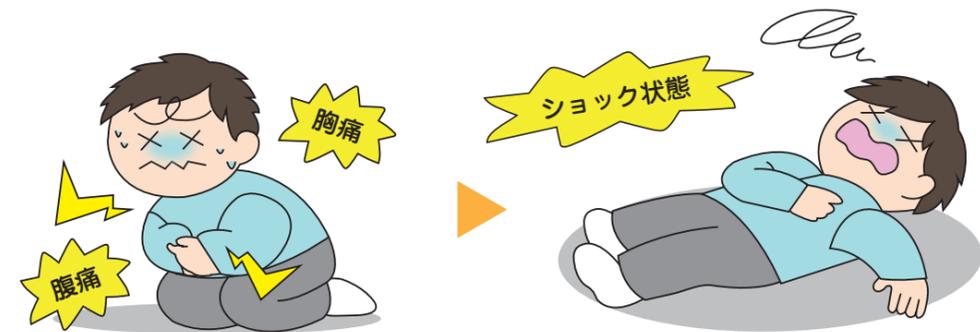


**大動脈瘤の種類**

- 大動脈瘤には、胸の大動脈に瘤ができた**胸部大動脈瘤**と、おなかの大動脈に瘤ができた**腹部大動脈瘤**があります。



- 大動脈瘤には、**自覚症状がほとんどありません**。しかし放っておくと破裂することがあり、命の危険をともなう恐ろしい病気です。大動脈瘤が破裂すると、胸やおなかに痛みが起こり、出血のため血圧が低下してショック状態となり、最終的には死に至ります。

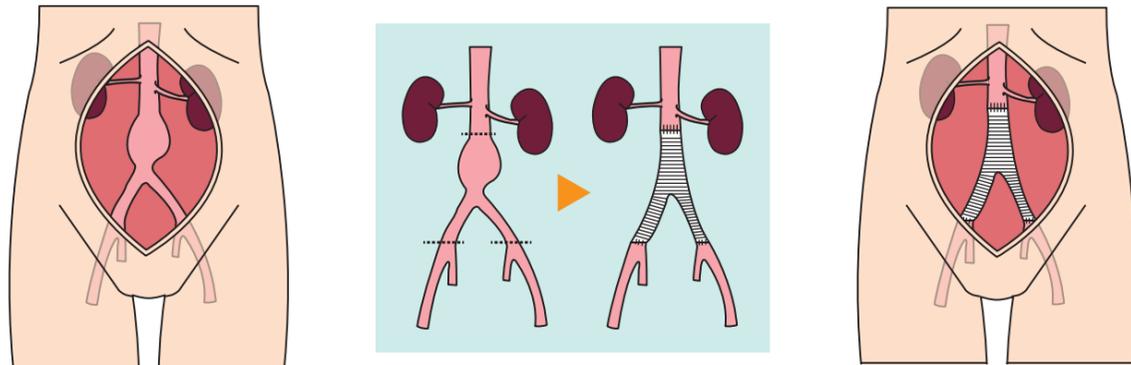


- 大動脈瘤が発見されたら、血圧の管理が非常に大切です。血圧が高いと大動脈瘤が大きくなり、破裂する危険性が高くなりますので、血圧を下げる薬（降圧剤）を内服していただきます。大動脈瘤の大きさや形によって、降圧剤での内科的治療が良いのか、手術が必要なのかの判断をします。大動脈瘤の破裂の危険性と手術の危険性のバランスをみて、治療方法を決めます。

# 手術の種類

## 大動脈瘤切除・人工血管置換手術

胸やおなかに切開を加え、大動脈瘤を切除し、人工血管に置き換える手術



腹部大動脈瘤を治療するために、開腹された状態。

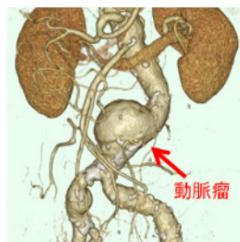
## カテーテル治療（ステントグラフト手術）

胸やおなかを切開せずに、足の付け根からカテーテルを使って大動脈瘤をステントグラフトで補強する手術

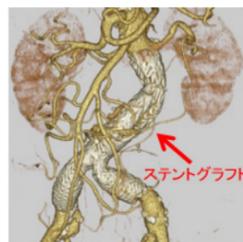


太腿の付け根部分を切開し、デリバリーカテーテルを挿入する。

## 実際の手術例



術前



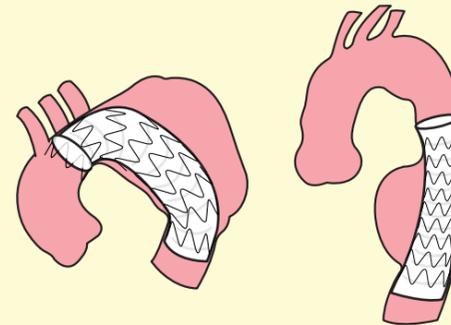
術後

# ステントグラフトとは

## ステントグラフトとは？

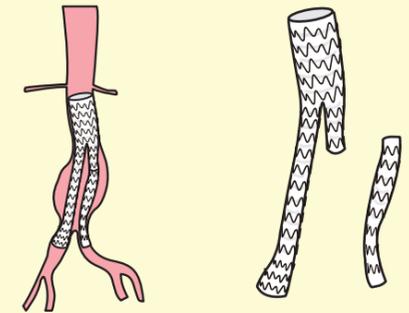
ステントグラフトとは、**金属の骨格を持つ特殊な人工血管**です。人工血管の周りに、ステントと呼ばれるバネ状の金属を張り巡らせて開発されました。これにより、高齢の方やいろいろな病気を持った人の大動脈瘤の手術が可能になりました。

### 胸部用



血管にあわせて湾曲する

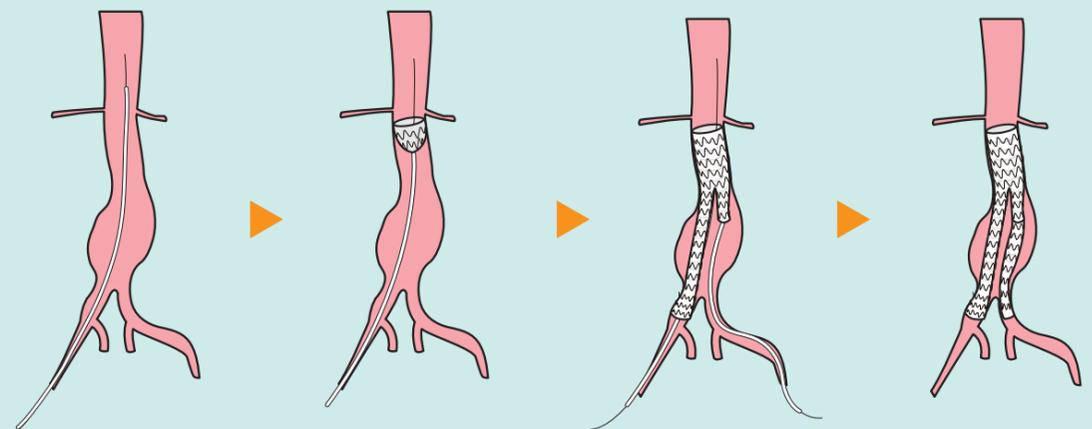
### 腹部用



組み合わせて使用する

ステントグラフトは、小さく折りたたまれた状態で、カテーテルと呼ばれる細い管に収納されています。足の付け根を3cmほど切開し、動脈の中にカテーテルを入れます。適切な場所でステントグラフトを展開することにより、バネの力で大動脈の壁に張り付きます。ステントグラフトで内側から補強することにより大動脈瘤に血圧がかからなくなり、大動脈瘤が破裂するのを防ぐことができます。

## ステントグラフトの展開の仕方



# ステントグラフト Q&A

## カテーテル治療（ステントグラフト手術）をした場合のメリットとデメリット

### メリット

#### 傷跡が小さい

外科手術のように胸やおなかを切開して直接縫いつける必要がないので胸やおなかを切開する必要がありません。

#### 入院期間が短い

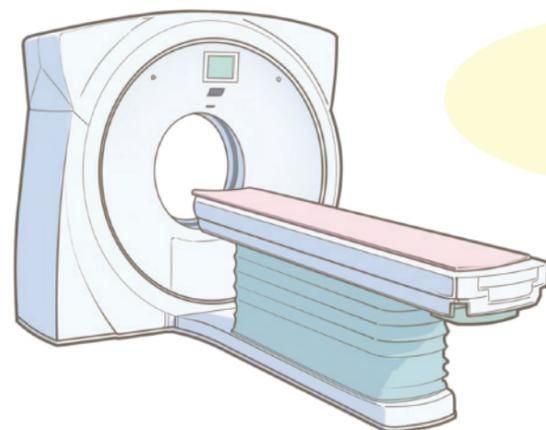
胸やおなかを切開しないため傷跡が小さく、（手術後7日程度）のが特徴です。

### デメリット

ステントグラフトと大動脈の密着不良や、ステントグラフトの“ずれ”などによる血流の“漏れ”が起こって、追加の治療が必要となる場合があります。

## 手術後のケア

- 手術の後は定期的に CT 検査を行い大動脈瘤の状態をチェックします。退院後もステントグラフトの“ずれ”や“漏れ”（エンドリーク）が無く、大動脈にきちんと密着しているかを確認します。大動脈瘤が小さくなることが理想ですが、一般的には大動脈瘤の大きさは変化しないことが多く、少なくとも大きくならなければ問題ないと考えられます。



定期的  
に検診へ  
お越し  
ください



### Q.1 ステントグラフトの手術後に運動ができますか？

基本的にはステントグラフトの手術後に運動を制限する必要はありません。

A. むしろ高血圧や糖尿病のある方には、適度な運動をお勧めします。

### Q.2 ステントグラフトは何年くらいもつのでしょうか？

A. 人工血管やステントには様々な改良が加えられ、その長期間の耐久性は大きく向上しています。しかし、人工血管とステントを組み合わせで作られたステントグラフトの長期間の耐久性はまだよくわかっていません。そのためにも手術後には定期的な検査が必要です。

### Q.3 ステントグラフト手術後に食事制限などは必要ですか？

A. ステントグラフト手術後は基本的には食事の制限はなく、特別な薬を服用することはありません。しかし、もともと持病として高血圧や糖尿病などの病気をお持ちの方は、当然ながら塩分やカロリーの摂取に気をつけるとともに、それぞれの病気に対する治療薬が必要です。

### Q.4 ステントグラフト手術後の検査はどのくらいの頻度で必要ですか？

A. 退院後は外来で定期的な検査が必要です。手術後半年以降は、半年毎に CT などの定期検査を行います。

その他ご質問ありましたら、こちらへご相談ください

川崎医科大学附属病院  
心臓血管外科 外来  
TEL：086-462-1111

大	動	脈	瘤				
ス	テ	ン	ト	グ	ラ	フ	ト
手	術	に	つ	い	て		



第1版

監修

川崎医科大学 心臓血管外科

柚木靖弘、栗田憲明、田村太志、渡部芳子、田淵 篤、金岡祐司、種本和雄

企画

川崎医科大学

近野のぞみ、諫見直樹

制作

川崎医療福祉大学 医療福祉デザイン学科

難波咲良